



# 市ヶ谷だより

法政大学  
市ヶ谷キャンパス  
教職課程センター  
2020年11月号(10/23発行)

## ★公立学校教員採用試験の最終結果判明、努力が成果に直結!!

今年度、延べ34名が公立学校教員採用試験を受験し、29名が1次試験を突破しました(1次試験突破率は85.3%)。1次試験合格者のうち27名が2次試験に挑みました。先週末の東京都の発表で2次試験の結果がほぼ判明しましたので、私立学校の途中経過と合わせてお知らせします。結果は地道な努力が確実に成果となって表れています。ほぼ1年間、採用試験対策の勉強に立ち向かい、見事に合格した皆さんに心から拍手を送ります。また、私立学校採用試験や大学院入試等に取組んでいる皆さんにはさらに大きなエールを送りたいと思います。市ヶ谷教職課程センターを活用していた受験生のうち、現時点での合格者数は、以下のとおりです(写真は7月後半の2次対策講座の様子)。



【東京都】7名(社会5名(期限付2名含む) 国語2名(期限付1名含む)) 【神奈川県】3名(社会1名 英語2名)  
【福島県】社会1名 【千葉県】5名(国語1名 社会1名 英語3名) 【横浜市】社会1名 【山梨県】国語1名  
【福岡市】社会1名 【北九州市】社会1名 【大分県】理科1名 【私立】国語1名 【バンコク日本人学校】英語1

今月も、合格した先輩(東京都、英語)の体験談を掲載します

私が教員採用試験の勉強を始めたのは、3年生の12月からでした。参考書を何度も読み、ノートに繰り返し専門用語を練習するなど、暗記する際に工夫をしました。また、3年12月から教職課程センターが主催する勉強会に参加し、自分が学習した点を、過去問を解くことで復習を重ねました。教職教養については、学習指導要領、教育基本法、学校教育法をよく読み込み、瞬時に何条の何について述べているのか、空欄補充にまで対応できるように対策を進めておくことが大事かと思います。3月まではこれの繰り返しで、専門科目の学習を本格的に始めたのは4月からでした。過去問は繰り返し解き、分からない問題は友達と相談しながら解き進めました。専門科目は、教職課程センターの貸し出しテキストをコピーしながら、過去問に取り組みました。私は、専門科目の点数に伸び悩み、試験直前も5割ほどしか取れていませんでした。読解しにくい文章ばかりですが、英検で言えば、準1級から1級程度の単語なので、英検対策の参考書に載っている短い文章を繰り返し読むなどして学習を重ねることで力がついたと感じます。

次に、小論文についてです。小論文は12月ごろから教職課程センターの先生にお世話になり、自分で論題を持ち帰り、執筆し、添削をお願いする工程を繰り返していました。2週間に1本は必ず小論文に取り組むことを心がけ、多いときは週に3本は書いていました。最初のうちは、論旨が論題に沿っておらず、起承転結がない論文でしたが、何度か練習していくうちに論文執筆の型が決まり、自分のスタイルで色々な論題に取り組むことが出来ました。

### ◆11月の教職課程センター 相談指導予定◆

### 事前申込制

	10:00~12:20	14:00~17:30		10:00~12:20	14:00~17:30
4(水)	個別相談	面接対策講座A	18(水)	個別相談	面接対策講座A
10(火)	個別相談	論作文対策講座A	19(木)	論作文対策講座B	個別相談
11(水)	個別相談	教職教養対策講座A	20(金)	教職教養対策講座B	個別相談
12(木)	論作文対策講座B	個別相談	24(火)	個別相談	個別相談
13(金)	面接対策講座B	個別相談	25(水)	個別相談	教職教養対策講座A
17(火)	個別相談	論作文対策講座A	26(木)	個別相談	個別相談

☆ 対策講座は対面を予定していますが、感染症によりオンラインでの実施となる場合があります

◎相談指導・各種講座やイベントのお申し込みは◎

教職課程センター(月~金 10:00~18:00)に来室又はメール(kkc@ml.hosei.ac.jp)にて

【URL】[http://www.hosei.ac.jp/kyoushoku\\_katei/](http://www.hosei.ac.jp/kyoushoku_katei/)

☎ 03-3264-5562